

2022.7.15(金)→9.11(日)

※月曜日休園[祝日の場合は翌日休園、8月15日(月)は開園]

鹿児島県霧島アートの森 アートホール

【開園時間】9:00～17:00(入園は16:30まで)

7/20～8/31の土・日・祝日は9:00～19:00(入園は18:30まで)

【観覧料】一般:800(600)円/高大生:600(400)円/小中生:400(300)円

()内は前売り又は20人以上の団体料金

【主催】鹿児島県文化振興財団/南日本新聞社/MBC南日本放送/KTS鹿児島テレビ

【協力】湧水町/霧島山麓湧水町観光協会/第一交通産業株式会社
株式会社奥山産業/Gallery Nomart/Yumiko Chiba Associates

【特別協賛】トヨタカラー鹿児島

【前売り券販売所】

南日本新聞社、MBC南日本放送、KTS鹿児島テレビ、霧島山麓湧水町観光協会加盟店舗、霧島温泉市場、コープサービス、
鹿児島大学生協同組合、県職員生協、宮崎県立美術館、都城市立美術館、宝山ホール(鹿児島県文化センター)、
What、山形屋プレイガイド、大谷画材、集景堂、十字屋クロス、高木画荘、国分進行堂、チケットぴあ(Pコード: 686-098)、
ローソンチケット(Lコード: 84954)、e+イープラス

「ナンセンスな旅への招待」

「みることの夢」

植松奎一展

Keiji Uematsu

An Invitation to a Nonsensical Journey
— Dreams of Seeing

《浮く石》2017年

霧島アートの森
KIRISHIMA OPEN-AIR MUSEUM

【お問い合わせ】

〒899-6201 鹿児島県始良郡湧水町木場6340番地220

TEL:0995-74-5945 FAX:0995-74-2545

※開催の内容は変更する場合があります。最新の情報は本館ホームページやSNSにてご確認ください。

www.open-air-museum.org

Keiji Uematsu An Invitation to a Nonsensical Journey — Dreams of Seeing

美術家 植松奎二は、鉄や石、ガラスなどを用いた彫刻のほか、映像や写真、インスタレーションなどの制作をとおして、自然や地球、宇宙といった世界の構造と私たちの存在、相互の関係性について表してきました。

そして、霧島や桜島を巡った植松は、火と土と水と空気が様々な姿へと形を変え、膨大なエネルギーの転換が繰り返される様を見て、フランスの哲学者ガストン・バシュラルの『想像力の源泉は物質である』という言葉に強く意識したといいます。

本展は、私たちの持つ常識を覆し、言葉と思考と視覚が一体となった小さな宇宙空間をつくり出すことによって、植松による知覚を超えた発見の場を表出するものとなります。知と未知との境から生み出される作品をとおして、世界との関わりの中に新しい意味を見つけ出そうとする植松の時空を超えた旅を体感するものとなるでしょう。

「ナンセンスな旅への招待」
「みることの夢」

植松奎二展

作家紹介



植松 奎二

うえまつ けいじ

1947年兵庫県生まれ。美術家。1975年渡独。ヴェネツィア・ビエンナーレ日本代表選出(1988)。第38回中原二郎賞(2013)、兵庫県文化賞(2021)受賞。主な個展にストックホルム近代美術館(1976 スウェーデン)、PS1(1981 ニューヨーク アメリカ)、西宮市大谷記念美術館(1997・2006 兵庫)、北九州市立美術館(2003 福岡)。グループ展に「Performing for the Camera」(2016テートモダン ロンドン イギリス)ほか国内外で多数開催。主なパブリックコレクションに兵庫県立美術館、西宮市大谷記念美術館、国立国際美術館、神奈川近代美術館、カルティエ現代美術財団、プレーメン美術館、MoMA NY、鹿児島県霧島アートの森 ほか。2021年には芦屋市立美術館(兵庫)にて個展「みえないものへ、触れる方法—直観」を開催し、展示空間を独自の世界に変容させた。現在、大阪府箕面市とデュッセルドルフにスタジオを構え制作と発表を続けている。

関連イベント

オープニングセレモニー 7月15日(金) 14:00～

オープニングトーク「みることの夢への旅」7月15日(金) 14:30～
越智裕二郎(西宮市大谷記念美術館館長)×植松奎二



越智裕二郎(おち・ゆうじろう)

1949年神戸市生まれ。1978年早稲田大学で美術史修士課程修了。神戸市教育委員会の博物館創設準備室学芸員に。その後静岡県立美術館、兵庫県立美術館を経て広島県立美術館館長に。2015年4月より現職。1999年「東アジアの近代油画」展開催。2017年開港150年記念「港都KOBÉ芸術祭」に関わる。

トークイベント「生まれ続ける彫刻」7月16日(土) 14:00～

光田由里(美術評論家・多摩美術大学教授)×大槻晃実(芦屋市立美術館学芸員)×植松奎二



光田由里(みつだ・ゆり)

20世紀美術史、写真史。美術館学芸員として勤務後、2021年より現職。最近の編著書に『美術批評集成1955-1964』(藝華書房)、展覧会カタログ「ミニマル/コンセプチュアル ドロテ&コラント・フィッシャーと1960-70年代美術」(2021-22、DIC川村記念美術館ほか巡回)



大槻晃実(おおつき・あきみ)

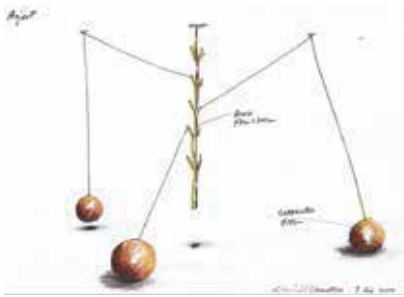
専門は近現代美術。近年の主な展覧会に「芦屋の時間 大コレクション展」(2020)、「美術と音楽の9日間rooms」(2020)「植松奎二 みえないものへ、触れる方法—直観」(2021)、「限らない世界/村上三郎展」(2021-22)など。

子どもも大人も楽しいワークショップ
——「行為とかたちに触れる旅」8月13日(土) 14:00～

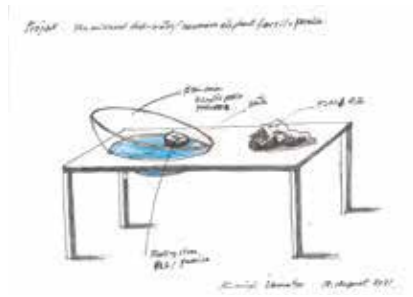
学芸員によるギャラリートーク 8月7日(日)・21日(日)・28日(日) 14:00～

関連グッズ・書籍の販売

※関連イベントの詳細は、決まり次第本館ホームページ等でお知らせします。



《一本の樹》2022年



《まちがってつかわれた機—水/ナウマンゾウの化石/浮石》2022年



《見えないカー軸・経度・緯度》2021年 撮影:高嶋清俊
※参考図版(2021年芦屋市立美術館での展示風景)



霧島アートの森
KIRISHIMA OPEN-AIR MUSEUM

【お問い合わせ】

〒899-6201 鹿児島県始良郡湧水町木場6340番地220
TEL:0995-74-5945 FAX:0995-74-2545

www.open-air-museum.org

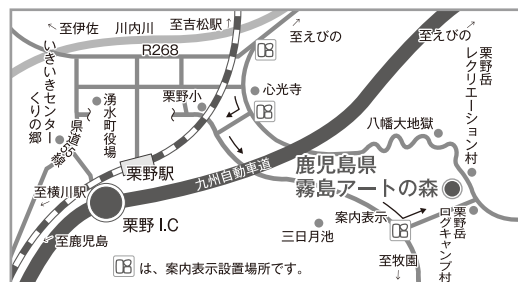
【新型コロナウイルス感染拡大防止のためのお願い】

発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合は来園をお控えください。また、来園の際は下記の点についてご協力をお願いします。

1. 入場時に検温をします。(37.5度以上の発熱がある場合はご入場いただけません。)
2. 入退場時は消毒液で手指の消毒をし、屋内ではマスクを着用してください。(消毒液は園内数カ所に設置してあります。)
3. 展示室内では他の観覧者と十分な距離(2m目安)を確保してください。
4. 展示室の混雑状況により、入場を制限させていただく場合があります。

【アクセス】

- 車 九州自動車道「栗野I.C.」より約20分、「鹿児島空港」より約40分
- JR JR「鹿児島中央駅」より日豊本線「隼人駅」のりかえ、肥薩線「栗野駅」下車、町営ふるさとバスで約20分
- バス 「栗野駅」または「いきいきセンターの郷」より、町営ふるさとバスで約20分～40分



※開催の内容は変更する場合があります。最新の情報は本館ホームページやSNSにてご確認ください。

